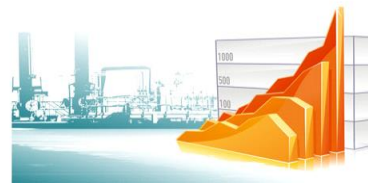


ぎふ経済レポート



令和3年11月分
岐阜県商工労働部

※企業等へのヒアリングは 11月24日～27日を中心に実施し、12月10日時点で作成。

景気動向

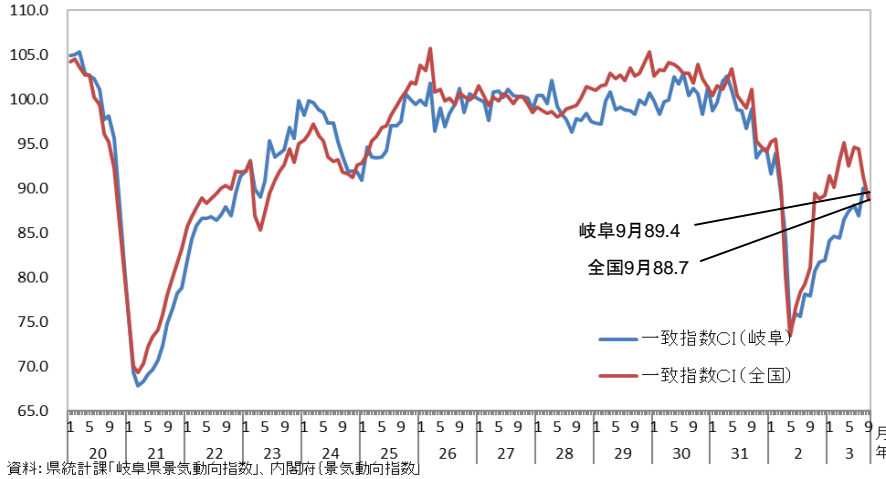
○9月の景気動向指数(一致指数)は、89.4で前月比▲0.6ポイント低下した。

○10月の県内中小企業の景況感は、▲33で前月比1ポイント上昇した。

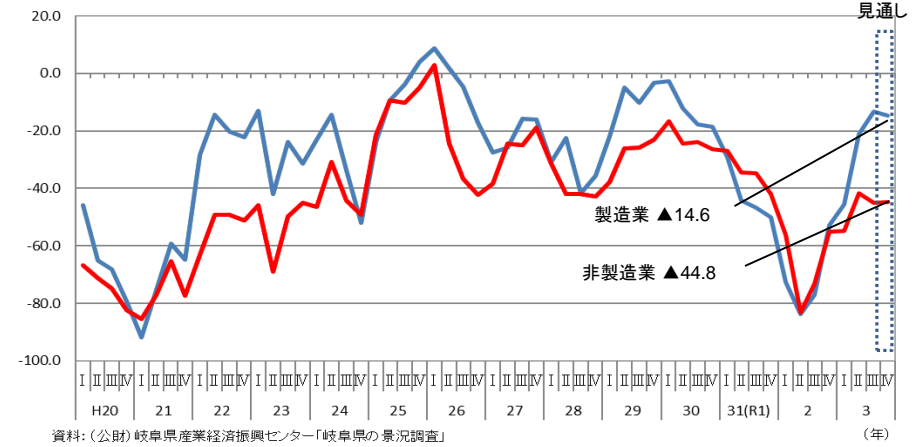
○10-12月期の景況DI見通しは、製造業で▲1.3ポイント低下、非製造業で0.2ポイント上昇した。

○同売上高DI見通しは、製造業で▲16.5ポイント、非製造業で▲5.1ポイント低下した。

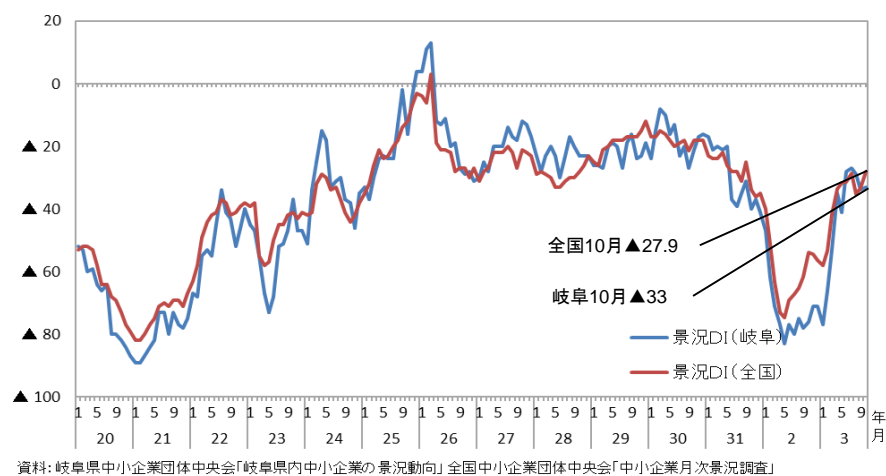
岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (平成27年=100)



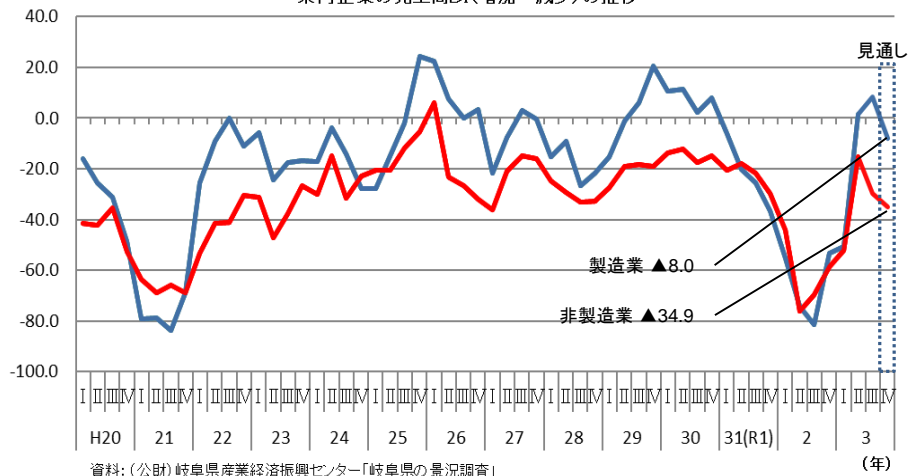
県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移

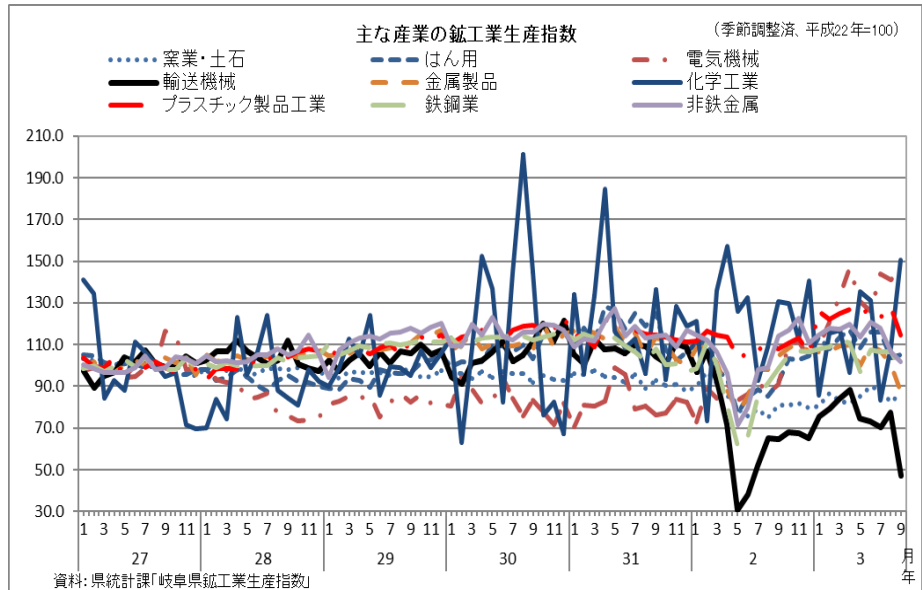
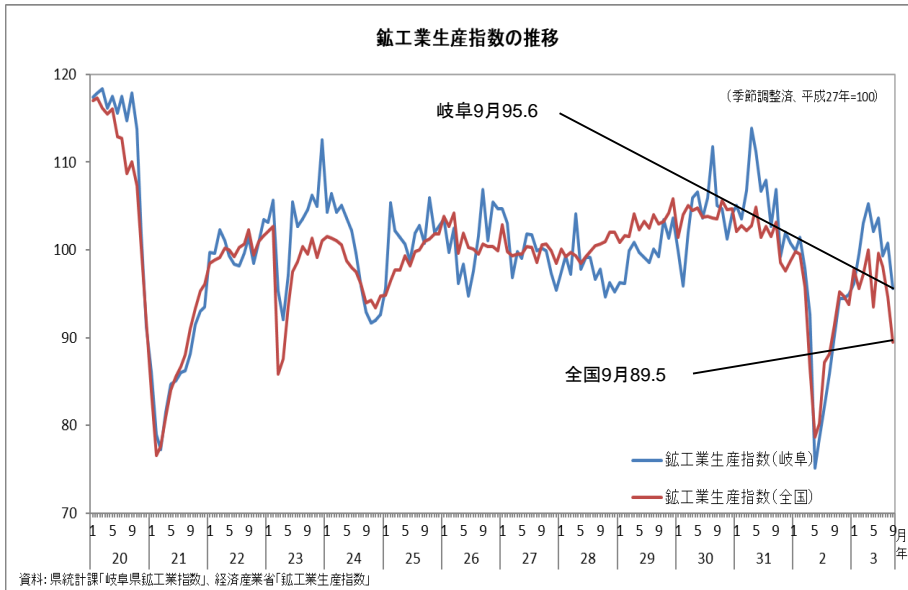


製造業

○9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、95.6で前月比▲5.2%と低下。

○主な産業の前月比では、化学工業、電気機械、はん用で上昇したものの、輸送用機械、金属製品、プラスチック製品工業、鉄鋼業、非鉄金属で低下した。

○9月の主な産業の指数は、化学工業で前月比38.4%、電気機械で同4.0%、はん用で同1.4%と上昇したものの、輸送用機械で同▲39.0%、金属製品で同▲12.7%、プラスチック製品工業で同▲10.3%、鉄鋼業で同▲7.1%、非鉄金属で同▲4.4%と低下した。



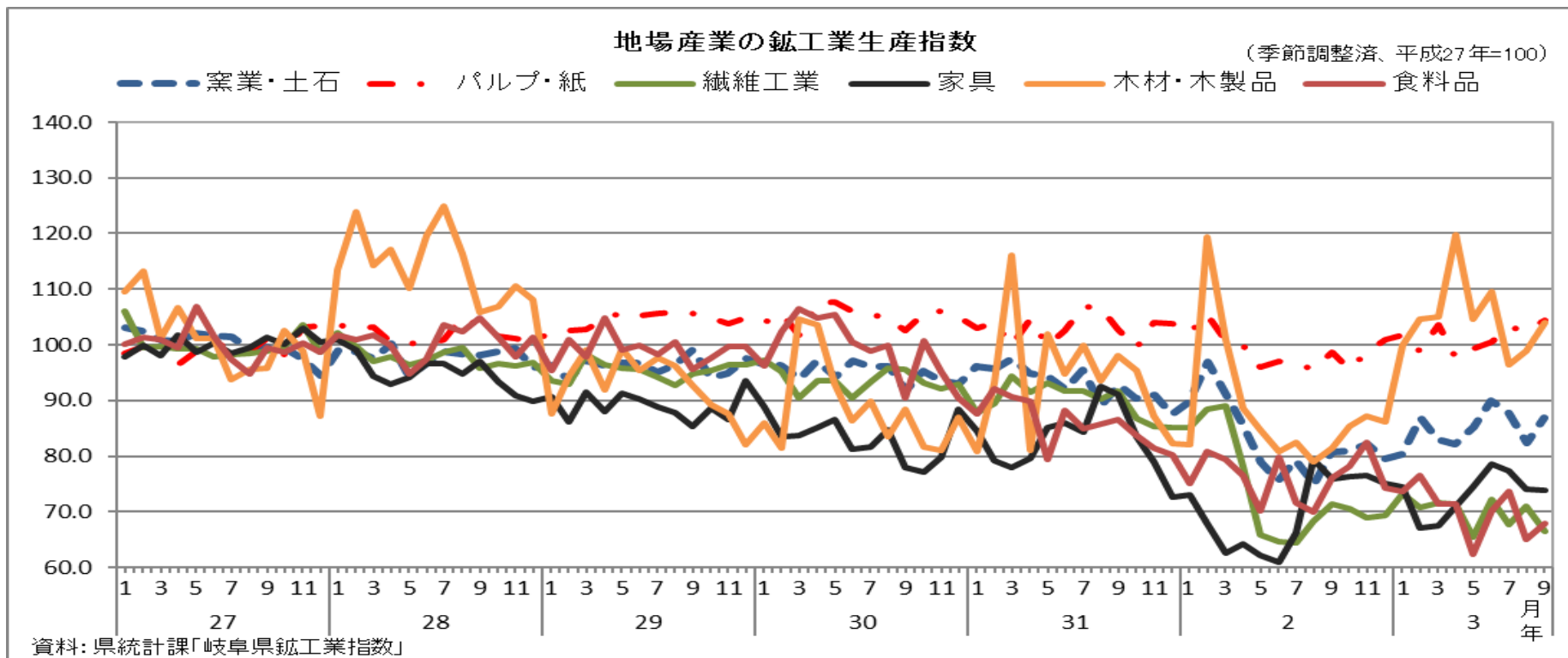
現場の動き

(※新型コロナウイルスや原材料等の不足・価格高騰の影響はP6にも掲載)

- ◆ 自動車関連産業は需要が戻りつつある。(輸送用機械)
- ◆ 大手自動車メーカーの挽回生産に備えて、当社も部品等の在庫を1.5倍ほどに増やしている。(輸送用機械)
- ◆ 回復傾向が続いており、早ければ12月もしくは年明け頃から減産分の挽回生産に入る見込み。(非鉄金属)
- ◆ 11月からは受注計画通りの生産状況まで持ち直したものの、原材料高騰の影響で利益は低下している。(輸送用機械)
- ◆ 月ごとの売上に大きな波があり、依然として厳しい状況が続いている。(生産用機械器具)

製造業-2

○9月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、繊維工業で前月比▲6.3%、家具で同▲0.3%と低下したものの、木材・木製品と窯業・土石で同5.3%、食料品で同4.6%、パルプ・紙で同2.0%と上昇した。



現場の動き

(※新型コロナウイルスや原材料等の不足・価格高騰の影響はP6にも掲載)

- ◆ 取引先の店舗やデパートから商品の問い合わせが少しずつ増えており、回復の兆しを感じる。(紙)
- ◆ お土産屋からの注文が増えてきており、今後を期待している。(食料品)
- ◆ 9月は少し回復したが、10月、11月は全く売れていない。9月は秋・冬物を小売りに卸すため、それなりの出荷もあったが、小売店で服が売れていないので、10月、11月は追加の出荷がない状況にある。(繊維)
- ◆ 前年に比べると売上は増加したものの依然として非常に厳しい。例年、この時期は飲食店向けの業務用食器の出荷が多いため繁忙期となるが、以前の忙しさには戻っていない。(陶磁器)

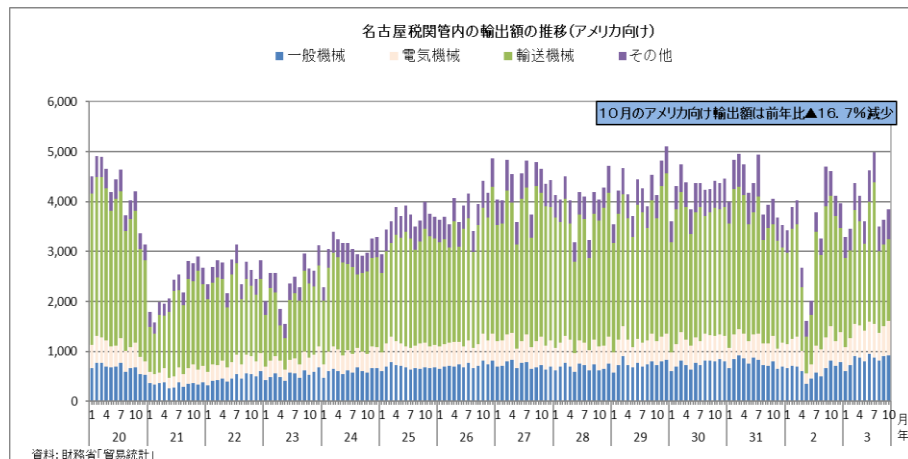
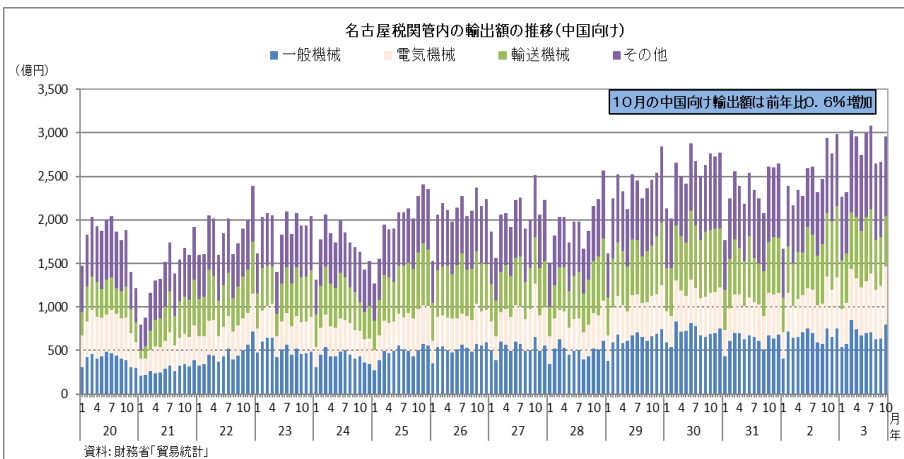
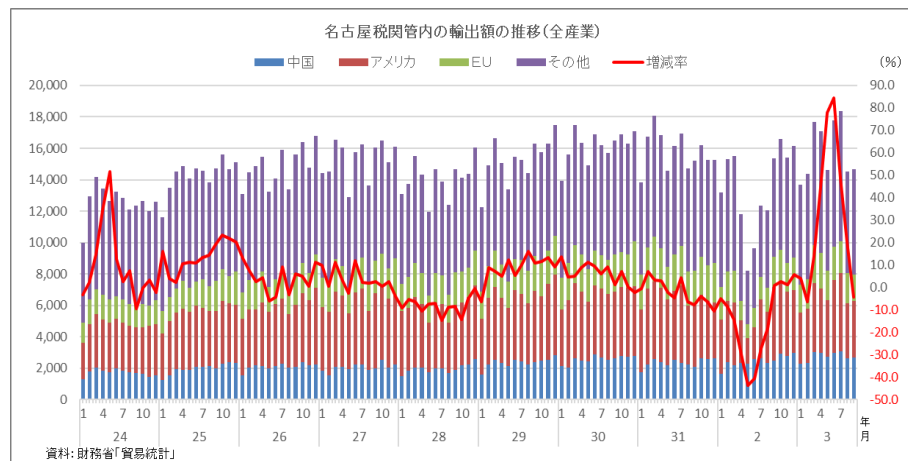
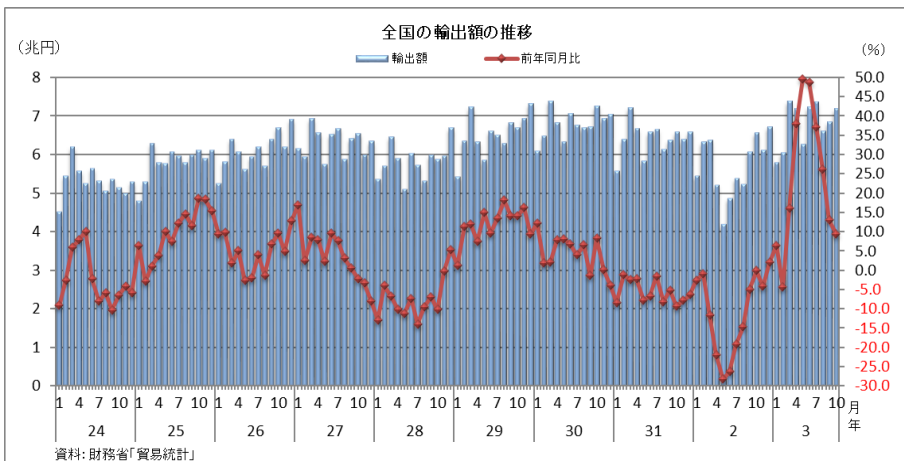
輸 出(名古屋税関管内)

○10月の輸出額(全国)は、7兆1,840億円で前年同月比9.4%増加した。

○10月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆5,658億円で前年同月比▲5.7%と減少し、2ヶ月連続で前年同月を下回った。

○中国向けは、全体で前年同月比0.6%増加した。その内、電気機械で同12.1%、一般機械で同5.9%増加し、輸送機械で同▲20.8%低下した。

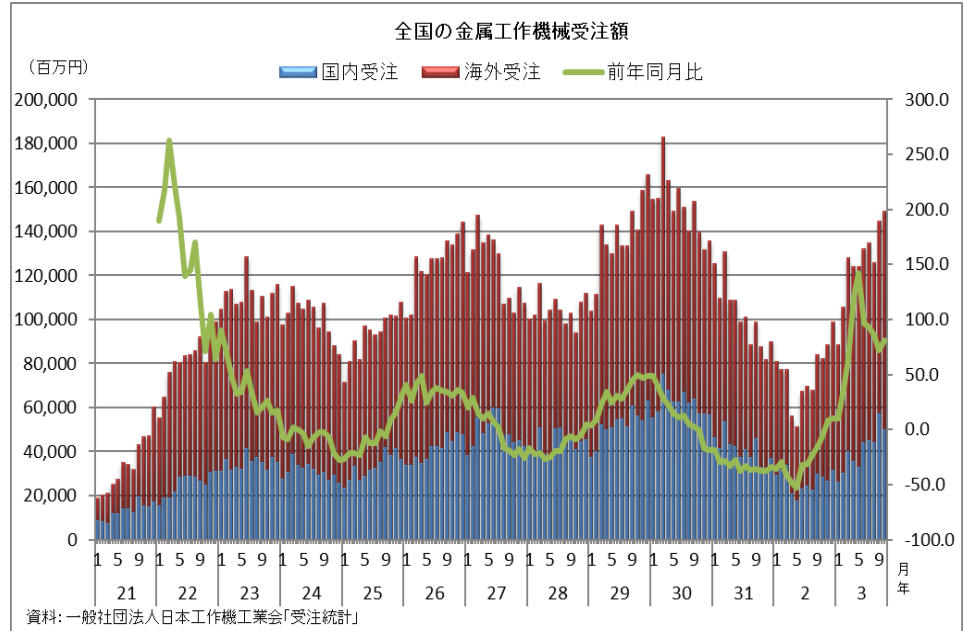
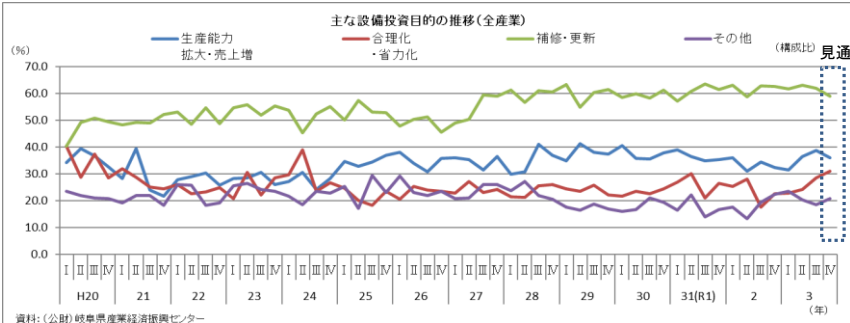
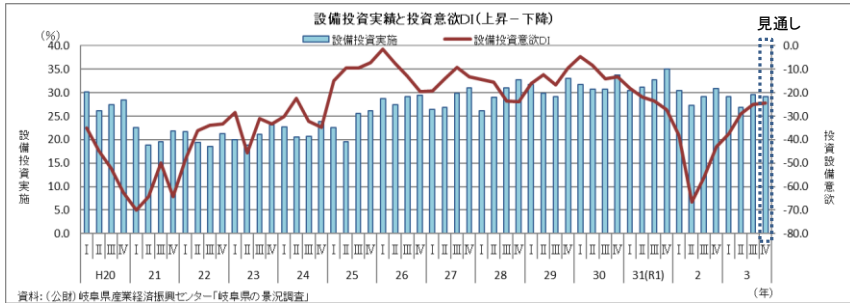
アメリカ向けは、全体で前年同月比▲16.7%減少した。その内、一般機械で同13.1%増加し、輸送機械で同▲37.4%、電気機械で同▲0.7%低下した。



設備投資

○10-12月期の設備投資実施DI見通しは前期比▲0.4ポイント減少、設備投資意欲DI見通しは同0.5ポイント上昇。設備投資実施DI見通しの目的別では、「合理化・省力化」で同2.3ポイントと上昇、「生産能力拡大・売上増」で同▲2.6ポイント、「補修・更新」で同▲2.9ポイントと低下した。

○9月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比81.5%増加と12ヶ月連続で前年を上回った。内訳は国内受注では同74.1%増加と8ヶ月連続、海外向けは同85.5%増加と12ヶ月連続で前年を上回った。



現場の動き

(※新型コロナウイルスや原材料等の不足・価格高騰の影響はP6にも掲載)

- ◆ 設備投資を実施して生産性が向上したため、残業が減少している。(木工)
- ◆ 県の補助金(アフターコロナ・チャレンジ事業者応援補助金)を活用し設備を導入した。(繊維)
- ◆ 後継者が決まったため、これから設備投資をしていかなければならないと思っている。(窯業)
- ◆ 経営者における脱炭素化に対応する意識は高まっているのは間違いないが、現時点で脱炭素化のための設備に資金を投入するという動きは、事業規模も大きく財務や業績が安定している企業に限定される。(金融機関)

製造業関係における新型コロナウイルスの影響について

- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けていた東南アジアの工場は、正常な状態に戻ってきた。(輸送用機械)
- ◆ 緊急事態宣言が解除されてからも、感染拡大の第6波に備えて営業活動は慎重に行っている。(生産用機械器具)
- ◆ ホテルやレストランからの需要が戻ってきており、人流の回復を感じている。(紙)

原材料等の不足・価格高騰の影響について(原油関係を含む)

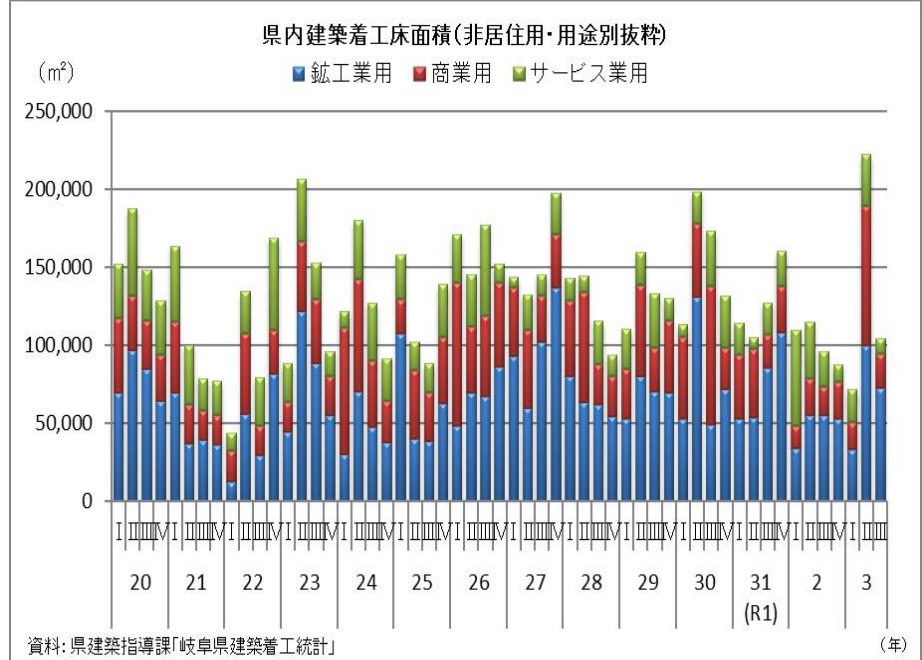
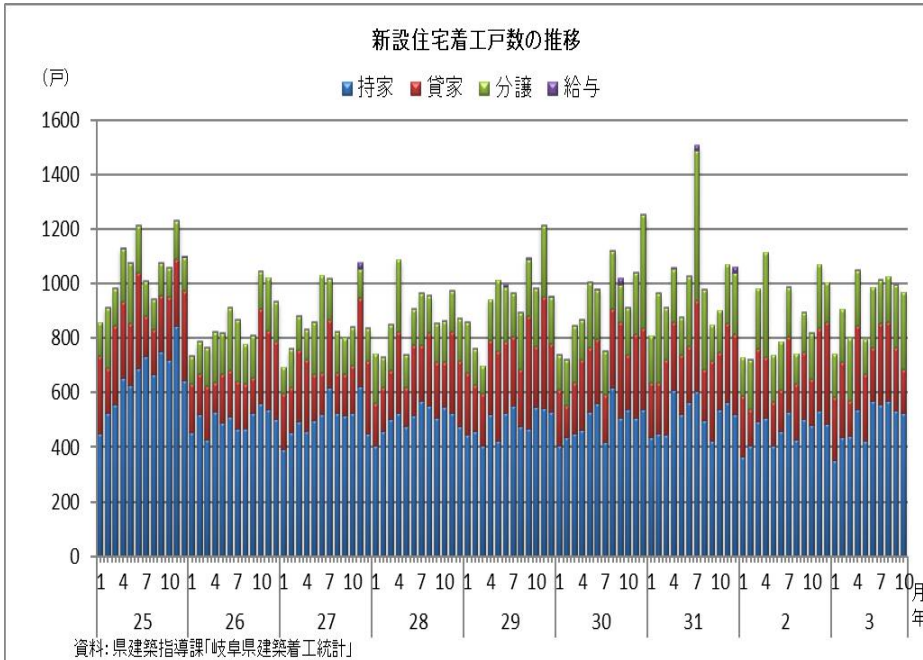
- ◆ 半導体等の供給不足の状況に変化がなく、調達に苦労している。(生産用機械器具)
- ◆ 材料費の高騰により顧客に一部製品の値上げを申請した。(輸送用機械)
- ◆ 鉄の原材料高が継続しており、収益が圧迫されている。(生産用機械器具)
- ◆ 鋼材の値上がりは原油高騰の影響が大きい。原材料費だけでなく物流費も嵩んでいる。(非鉄金属)
- ◆ 仕入れ鋼材の価格がどんどん上昇しており、厳しい状況。価格に転嫁せざるを得ない。(刃物)
- ◆ 板金、塗料、サッシ等の価格が上昇し、トイレや給湯器などは納入が遅れている。合板も供給不足。(住宅建設)
- ◆ 原油を材料とする化学製品の価格も上がっている。ただし、取引のある大手自動車メーカーは、半年ごとに原材料の調達を行っているので、現在使用している原材料の価格は半年間据え置きとなっている。(輸送機器)
- ◆ 原油高騰の影響でLPガスも高騰しており、電気代の値上がりも含め、エネルギーコストが負担となっている。(輸送用機械)
- ◆ 原油高の影響で原材料費が高騰し、利益減の予想をしている。(プラスチック製品)
- ◆ 原油高により材料価格の高騰が懸念される。また、ボイラーを使うプレス屋は苦労していると聞いている。(繊維)
- ◆ 石油価格の高騰で窯の燃料費のLPガスの価格も上がっている。価格の転嫁はそう簡単にはできない。(陶磁器)
- ◆ 原油の高騰について、商品に直接影響はないが、輸入コストがかさむ。(紙)
- ◆ ガソリン価格の上昇については、製品の運搬を委託しているので、運賃のガソリン代に影響している。(木工)

住宅・建築投資

○10月の住宅着工戸数は、前年同月比18.0%と増加した。

○分譲で前年同月比67.3%、持家で同9.8%増加し、貸家で同▲7.0%減少した。

○7-9月期の非居住用の建築着工床面積は、サービス業用で前年同期比▲53.9%と減少したものの、鉱工業用で同32.9%、商業用で同14.6%と増加し、全体として同8.9%と増加した。



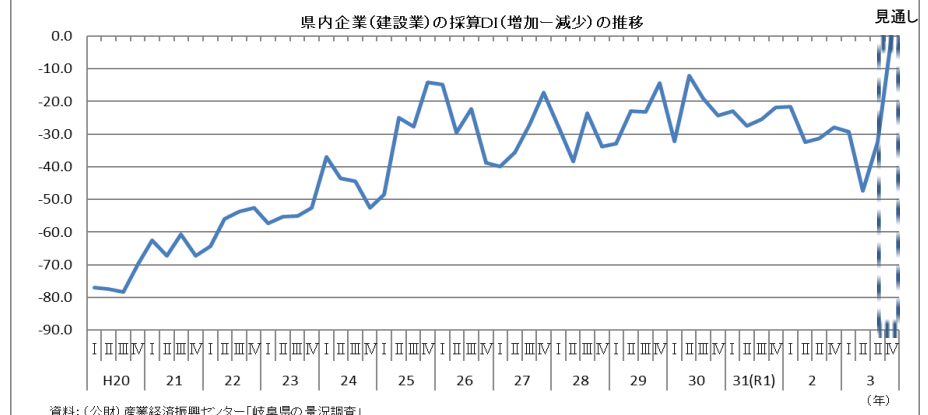
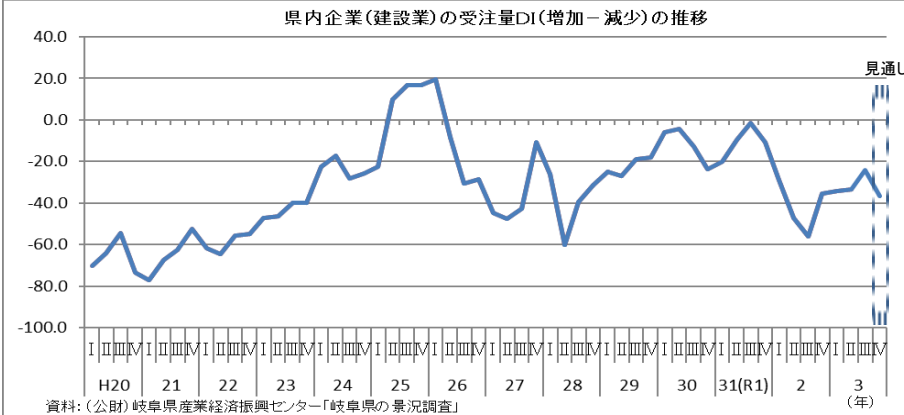
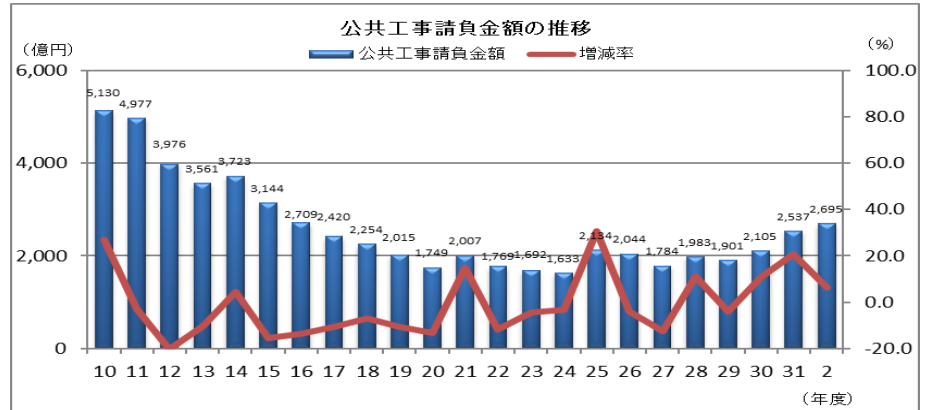
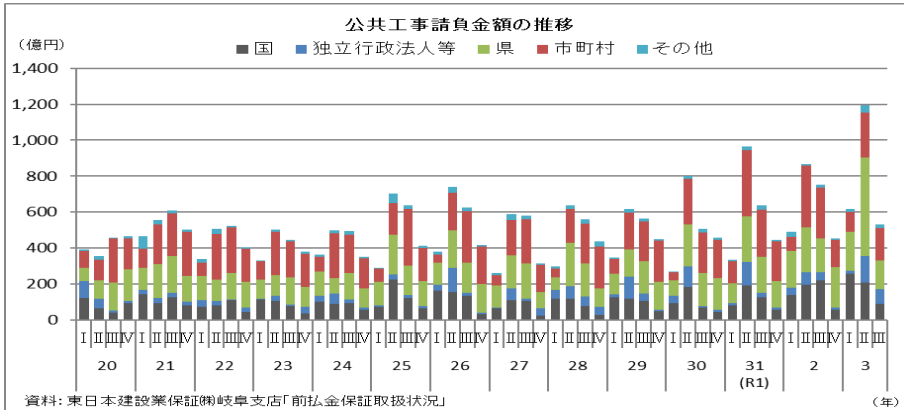
現場の動き

＜ウッドショックの影響も含む＞

- ◆ 売上は前年同月比で増加しているものの、受注量が増えているわけではなく、資材高による影響である。(工務店)
- ◆ 合板不足が目下最大の懸念となっている。(工務店)
- ◆ 住宅について、リベンジ消費は感じられない。むしろ施主の予算が低下していると感じている。(工務店)
- ◆ 木材市況は高止まり感がある。(組合)

公共工事

- 7-9月期の発注者別の公共工事請負金額は、独立行政法人で前年同期比86.9%と増加したものの、国で同▲58.6%、市町村で同▲35.4%と減少するなど、全体で同▲29.5%減少した。
- 県内建設業の10-12月期の受注量DI見通しは前期比12.6ポイント、同採算DI見通しは同32.4ポイント上昇した。



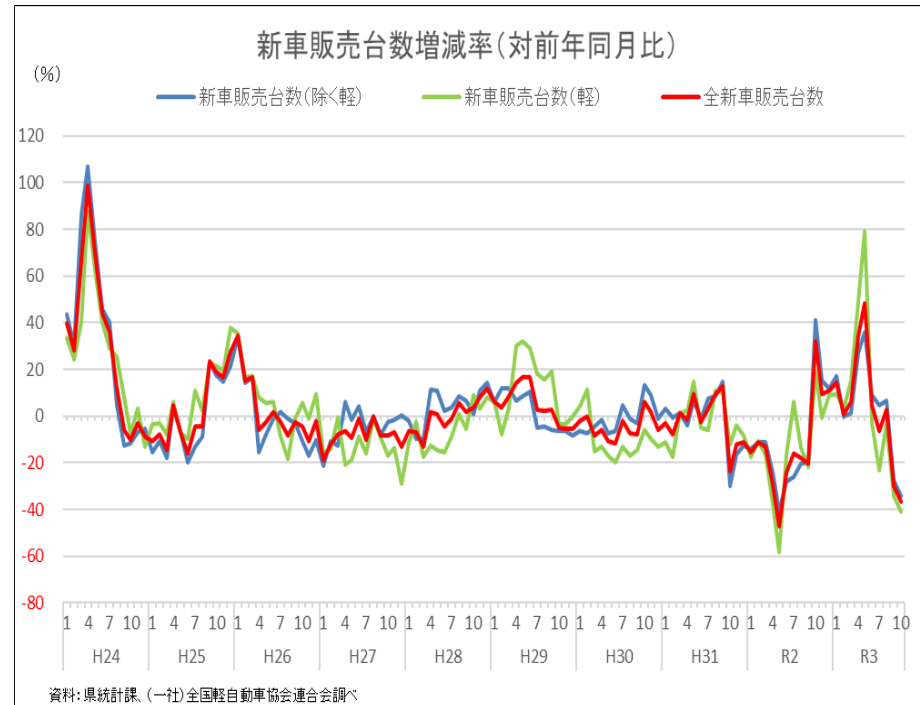
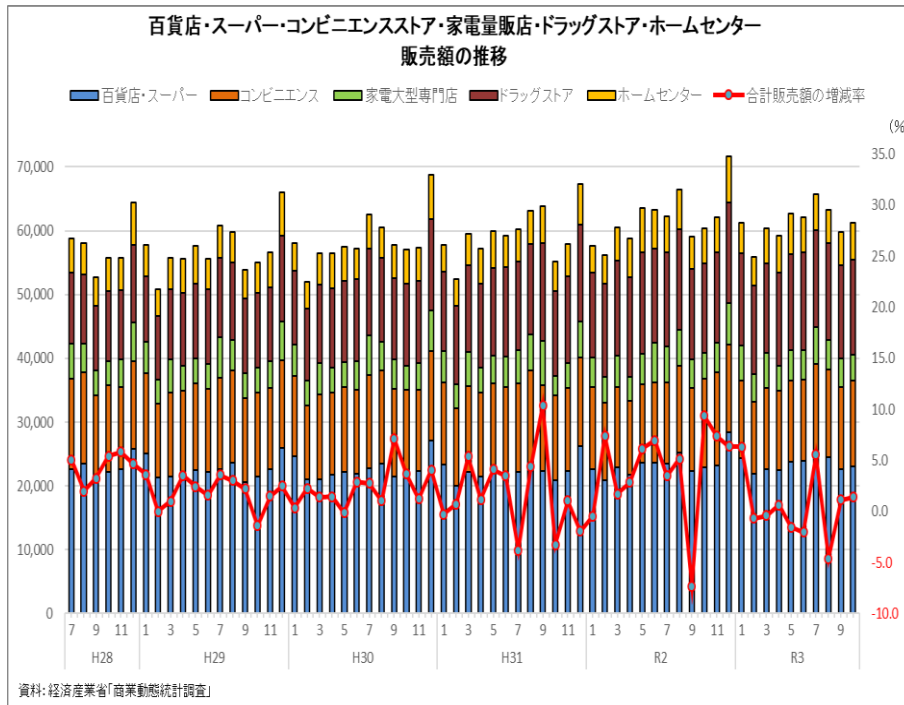
現場の動き

- ◆ 工事量の観点では先行きの見通しは悪くなっている。
- ◆ 昨年と比較すると、工事量は3割以上減少しているように感じる。
- ◆ 燃料費が高止まりしており、輸送費含めすべてのコストが上昇している。(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○10月はコンビニで前年同月比▲3.1%と減少したものの、ドラッグストアで同6.8%、ホームセンターで同3.7%、家電大型専門店と百貨店・スーパーで同0.5%と増加し、全体で同1.4%と増加した。

○10月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比▲34.2%と2ヶ月連続で前年同月を下回った。軽自動車は同▲41.2%と5ヶ月連続で前年同月を下回った。合算では同▲36.7%と、前年同月を2ヶ月連続で下回った。

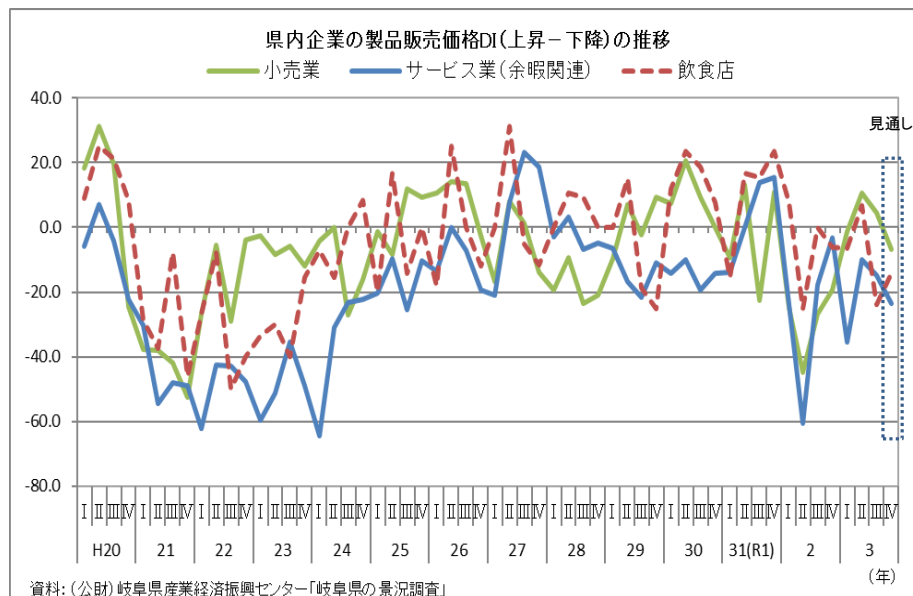
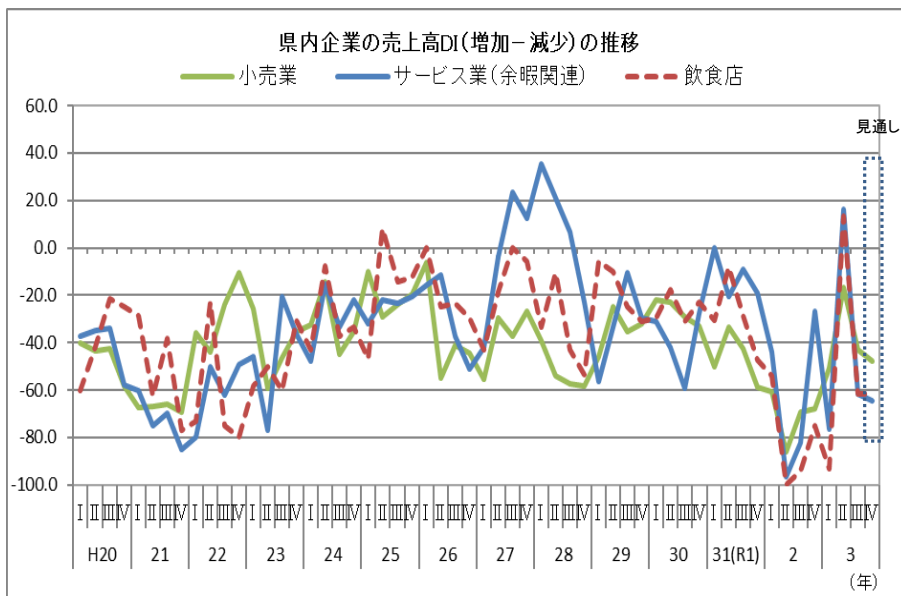


現場の動き

- ◆ 気温の低下等により、売上・客数ともに前年同月を上回った。
- ◆ 燃料費が上昇しているため石油ストーブ等の売れ行きが低下し、加湿器等の電化製品のほか、靴下やスリッパ、暖かいインナー等の衣料品が一気に売れ出した。
- ◆ 短期的には、緊急事態宣言の解除と気温低下の影響によって消費動向に改善が見られるものの、中長期的には家計負担の上昇が続き、消費マインドの落ち込みは継続すると思われる。(以上、県内商業施設)

個人消費(流通・小売)－2

- 10－12月期の売上高DI見通しは、小売業で同▲4.5ポイント、サービス業(余暇関連)で前期比▲3.0ポイント減少、飲食店で横ばいとなった。
- 同じく販売価格DIは、飲食店で前期比9.5ポイント増加、小売業で同▲11.3ポイント、サービス業(余暇関連)で前期比▲8.8ポイント減少した。



現場の動き

- ◆ 11月は前月比で来街者が増加。着物店では着付けやお茶、踊り、カラオケ等の発表会やお稽古が少しずつ再開されている。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 休日には観光客と見られる人出も見られるようになった。日用・雑貨店では、法人向けの売上は前年同月比▲30%と減少し、特に交通・輸送関係からの受注が減少した。(大垣市商店街)
- ◆ 家電販売店では、物販が低迷し前年同月比で▲20%と減少した。リベンジ消費の動きは感じられない。(高山市商店街)
- ◆ 酒類販売店では、取引先の飲食店への客足が徐々に戻りつつある。販売店独自のイベントにもある程度の集客があり、売上は好調であった。しかし、コロナ禍前の水準には達していない。(多治見市商店街)

観光

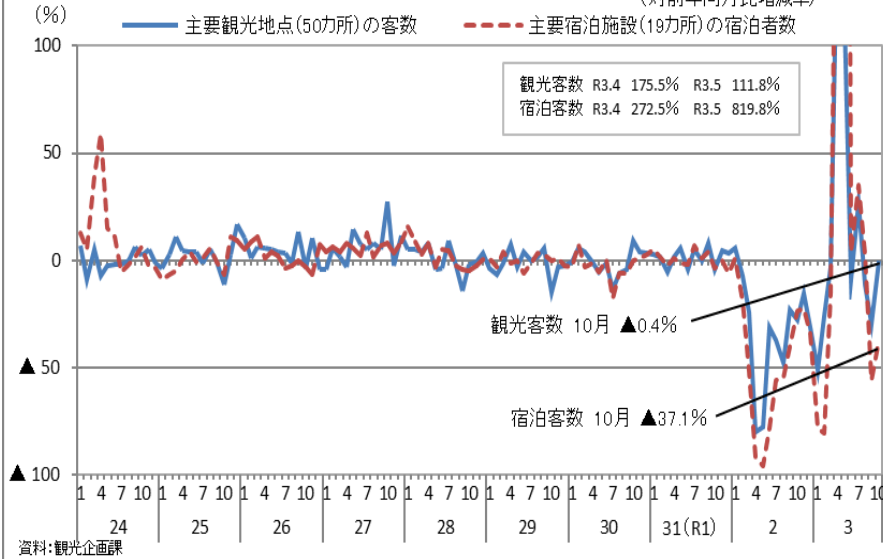
○主要観光地における10月の観光客数は、前年同月比▲0.4%、コロナ前の前々年同月比では▲27.8%となっている。

○主要宿泊施設における宿泊者数は、前年同月比▲37.1%、前々年同月比では▲55.6%となっている。

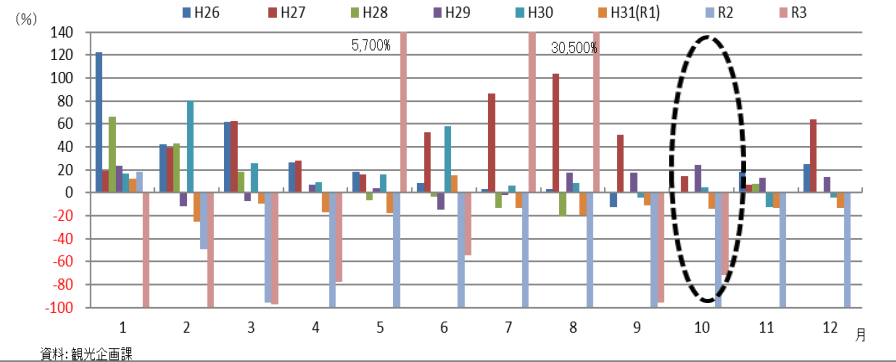
○10月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比▲72.2%、コロナ前の前々年同月比で▲100.0%となっている。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移

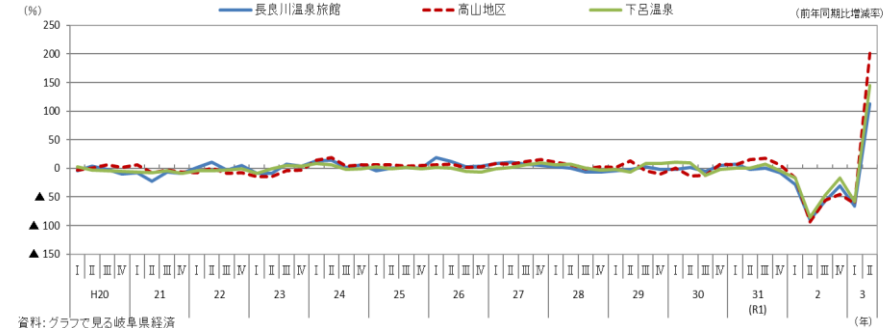
(対前年同月比増減率)



主要宿泊施設 外国人宿泊客増減率(対前年比推移)



主要観光地 観光宿泊客数の推移

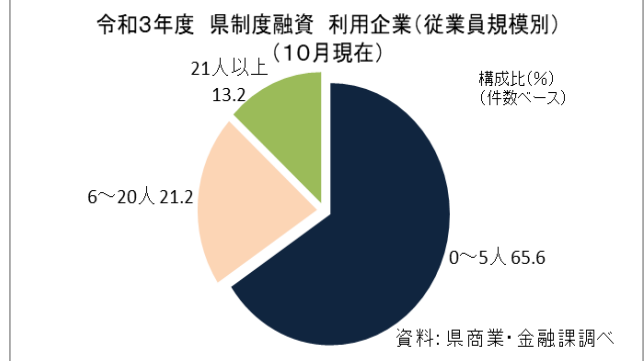
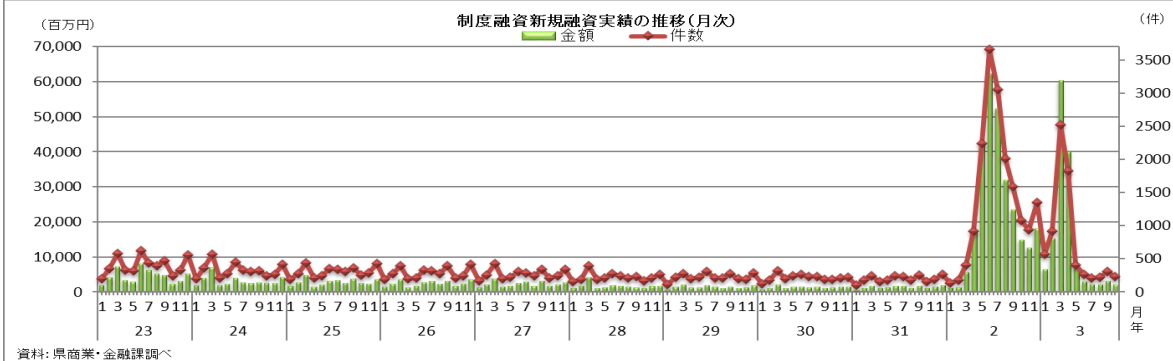
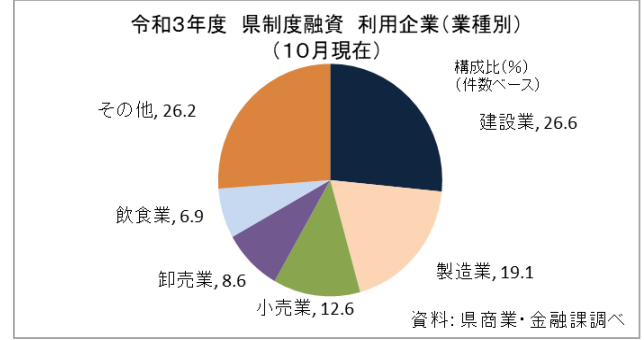
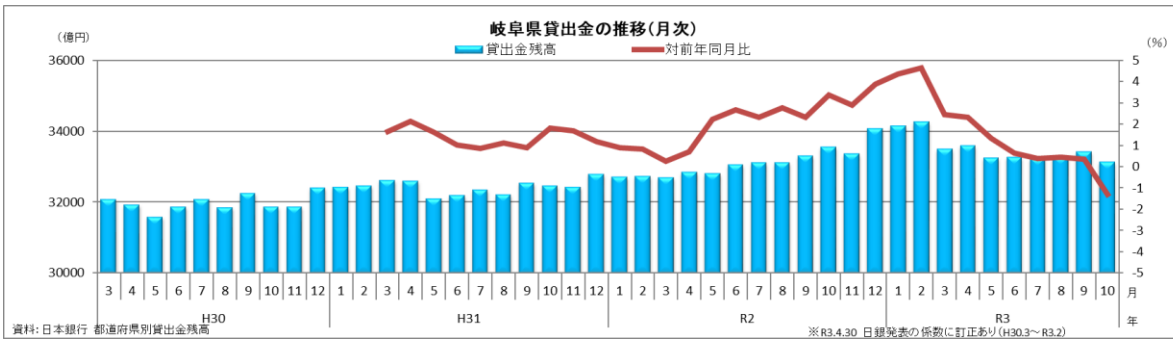


現場の動き

- ◆ 県の県民割引キャンペーンにより、多数の予約があった。(岐阜市の宿泊施設)
- ◆ 緊急事態宣言が解除されたことで、ビジネス出張による需要が多くなっている。(多治見市の宿泊施設)
- ◆ 緊急事態宣言は解除になったが、出足が鈍く、大きい動きは見えない。(岐阜市、高山市の宿泊施設)
- ◆ 予約状況は例年と比較すると50~60%程度と大変厳しい。(岐阜市、多治見市、飛騨市の宿泊施設)
- ◆ 予約が週末に集中し、平日が厳しい状況である。(下呂市の宿泊施設)

資金繰り

- 10月の岐阜県貸出金残高は、3兆3,129億円で前年同月比▲1.3%と減少に転じた。
- 10月の制度融資実績は、金額が2,381百万円で前年同月比で▲84.3%、件数は231件で同▲78.6%と、いずれも6ヶ月連続で減少した。
- 従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の65.6%を占めている。

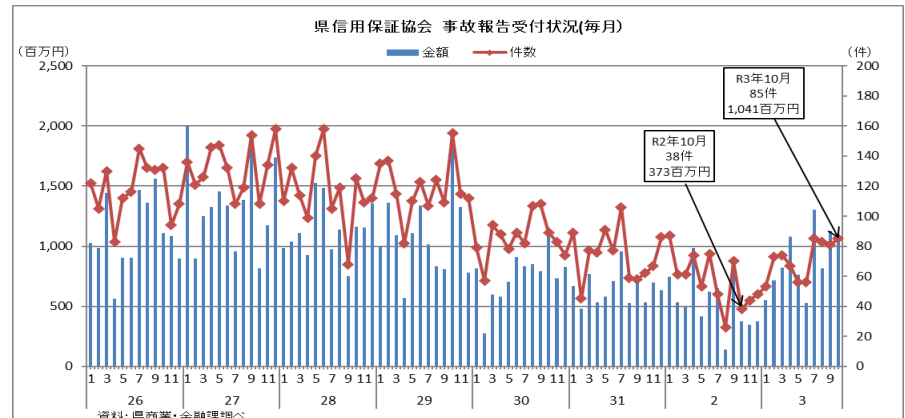
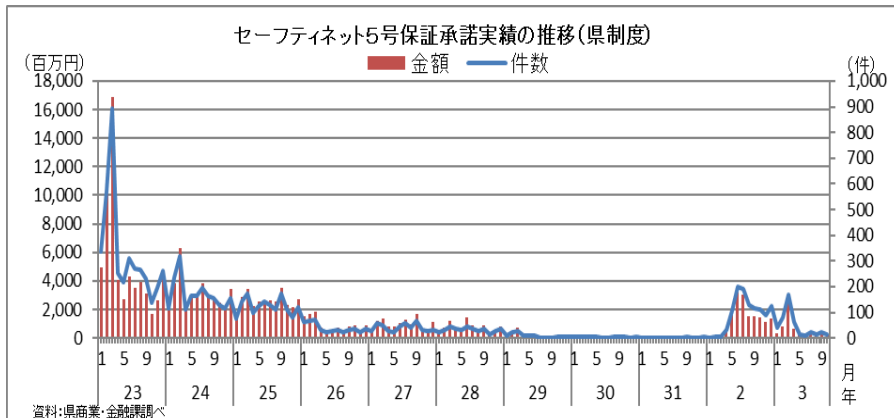
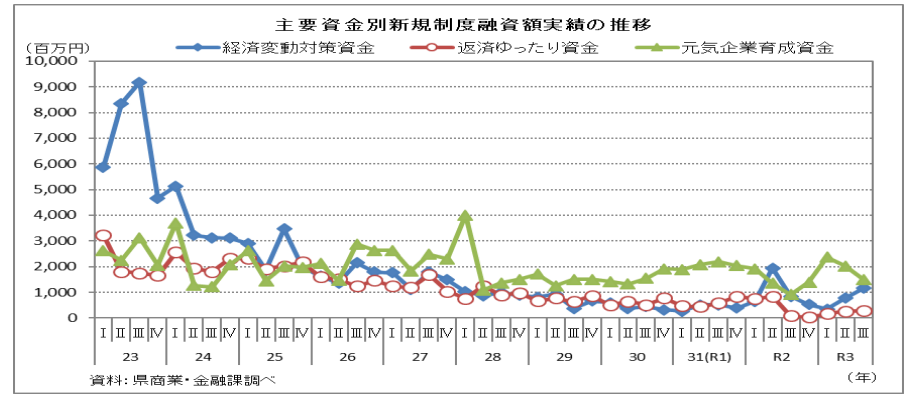
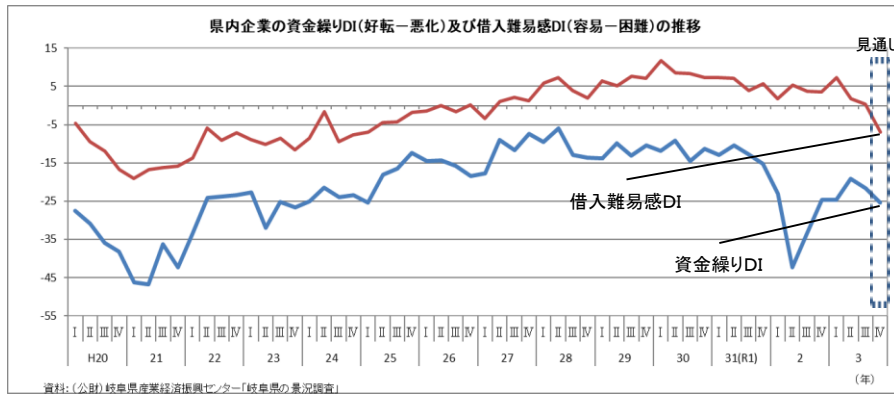


現場の動き

- ◆ 資金需要は弱いですが、法人預金が減少に転じ始めた。手元資金を運転資金に回したり、実質無利子無担保融資の返済が始まったりしたことが影響している。
- ◆ 実質無利子無担保融資の据置期間が終了する融資先も出てくるため、出口戦略を検討する必要がある。原油高の影響も相まって、追加融資を検討する案件も出てくるかもしれない。
- ◆ 原油高は運送業に大きな影響を与えていると思われるが、資金調達の相談は増えていない。(以上、金融機関)

資金繰り-2

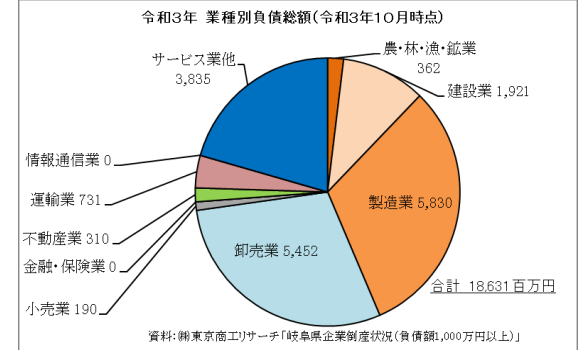
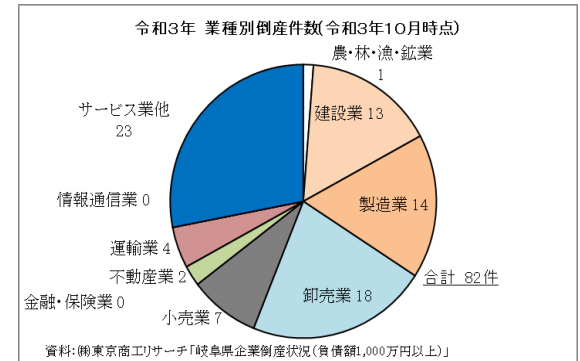
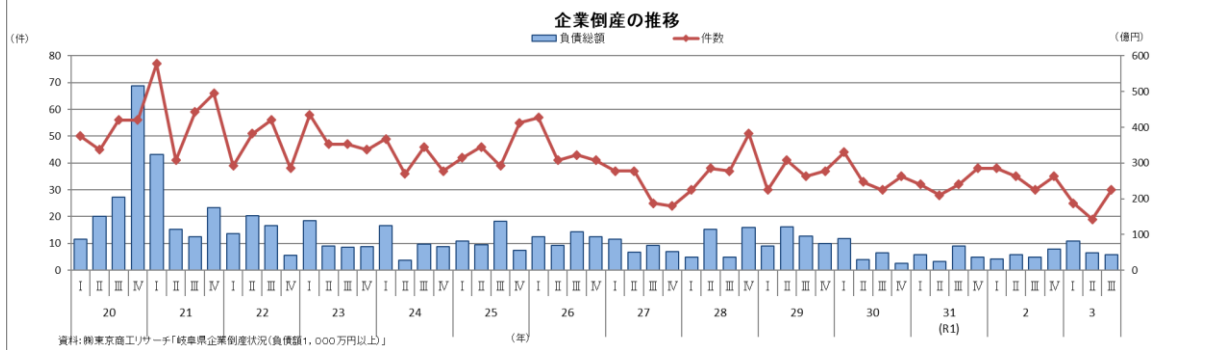
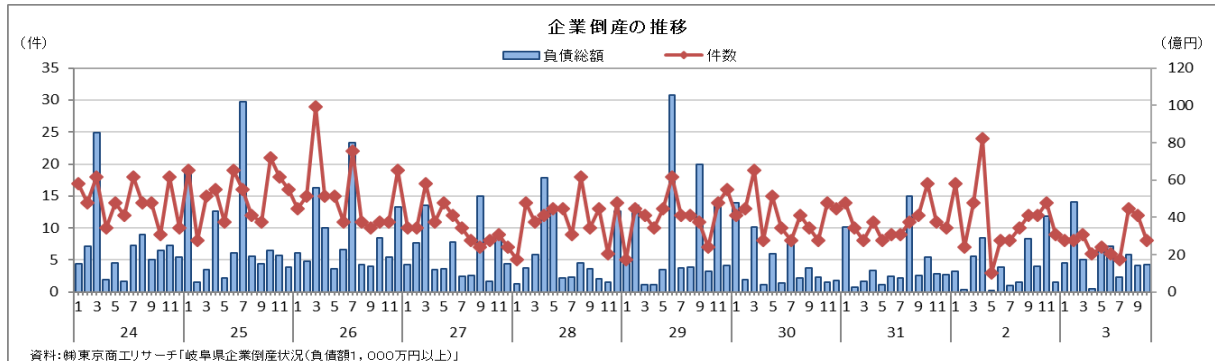
- 10-12月の資金繰りDI見通しは▲25.4で、前期比▲3.8ポイント低下した。同借入難易感DI見通しは▲7.0で、同▲7.3ポイント低下した。
- 7-9月期の主要資金別新規制度融資実績は、返済ゆったり資金で同214.9%と5期ぶりに増加、元気企業育成資金は同63.4%と3期ぶりに増加、経済変動対策資金で前年同期比36.4%と3期ぶりに増加となった。
- 10月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が13件で前年同月比▲96件減少、金額は178百万円で同▲1,228百万円減少した。
- 10月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は85件で前年同月比123.7%増加、金額は1,041百万円で同178.9%増加した。



倒産

○10月単月の倒産件数は前月比4件減少の8件、負債総額は前月比28百万円増加の1,462百万円となった。

○1月から10月までの累計倒産件数は82件となり、前年同期の115件から33件減少。累計負債総額は18,631百万円となり、前年同期の12,548百万円から6,083百万円増加で推移した。



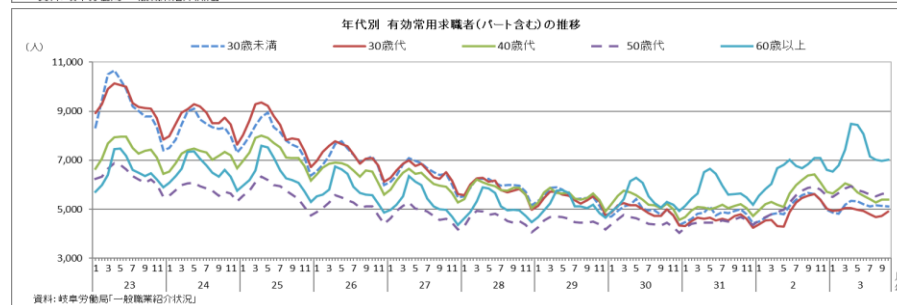
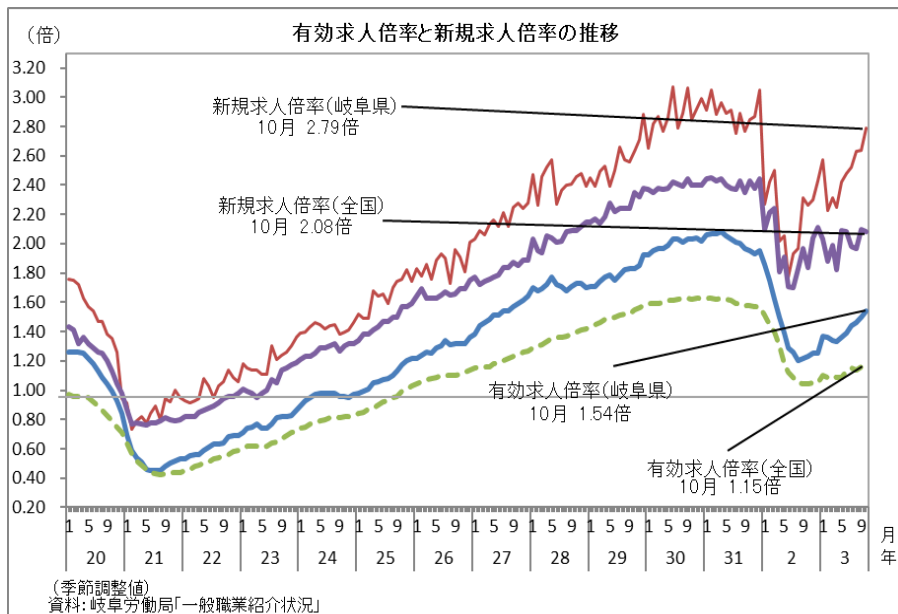
専門機関の分析(東京商工リサーチ、11月19日時点)

◆ 飲食店などの営業制限が緩和され、消費関連企業を中心に需要回復への期待が高まっている一方で、経営体力の低下による息切れのほか、経済活動の本格再開に伴う資金需要の高まりや人手不足問題に対処できない企業が増加することも懸念される。金融機関によるリスケなどの支援は継続するが、業績不振が長期化し過剰債務の問題も浮上しており、息切れ型を中心に、倒産件数が増勢に転じる可能性もある。

雇用

- 10月の有効求人倍率は1.54倍と、前月比0.04ポイント上昇した。
- 10月の新規求人倍率は、2.79倍と同0.15ポイント上昇した。

- 10月の雇用保険受給者人員は、前月比▲4.1%と減少した。
- 有効常用求職者は、すべての年代で前年同月比で減少した。



現場の動き

- ◆ 人員に過不足は感じていない。(生産用機械器具)
- ◆ 工事量的に先行きの見通しが悪くなっているが、継続した採用に努めている。(建設)
- ◆ 今後の生産活動の正常化に向けて人員の確保に努めているが、苦戦している。(輸送用機械)
- ◆ 求人を出しているが、求職者が集まらない。(陶磁器)
- ◆ 手間がかかる仕事のため人手が必要であるが、先の状況を見通すことができないため、今は採用を控えている。(刃物)
- ◆ 特に過疎地区での人員確保が非常に困難。年末年始のシフト組みに苦慮している店舗も散見される。(コンビニ)

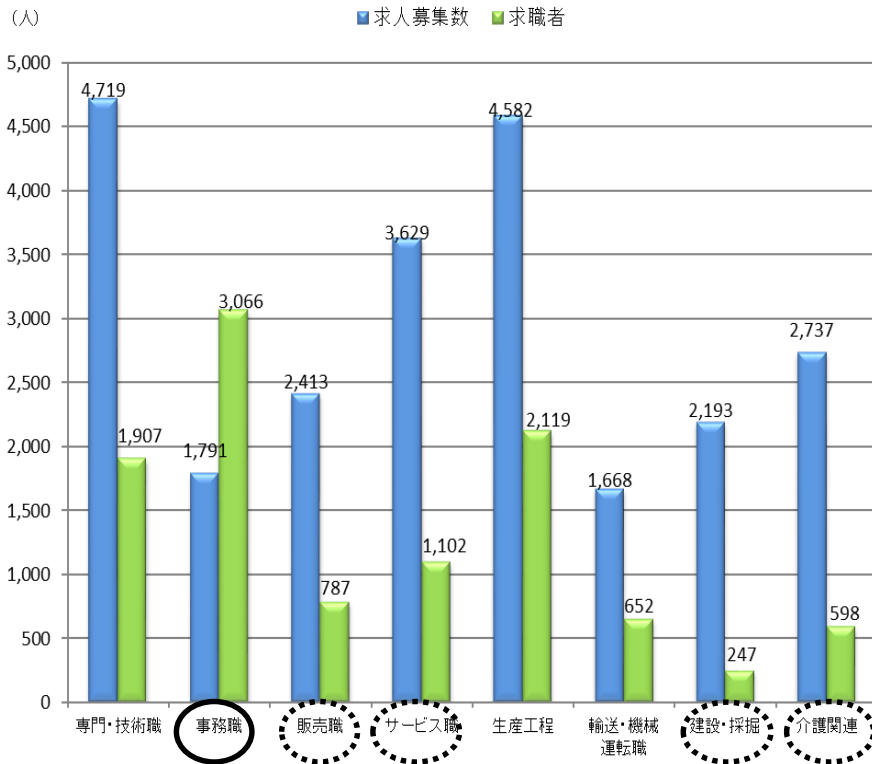
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で8.88倍、介護関連で4.58倍、サービス職で3.29倍、販売職で3.07倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.58倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

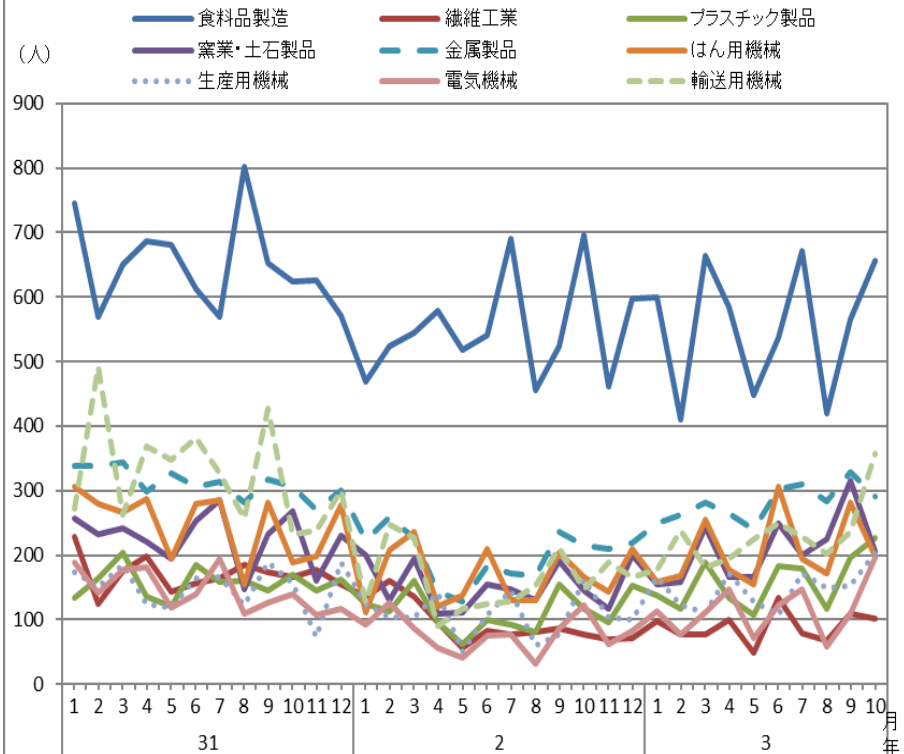
○10月の主要産業別の新規求人数は、電気機械で前月比79.1%、輸送用機械で同51.3%、生産用機械で同32.7%、食料品製造で同16.3%、プラスチック製品で同15.2%と増加し、窯業・土石で同▲34.9%、はん用機械で同▲29.5%、金属製品で同▲11.3%、繊維工業で同▲6.4%と減少した。

10月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



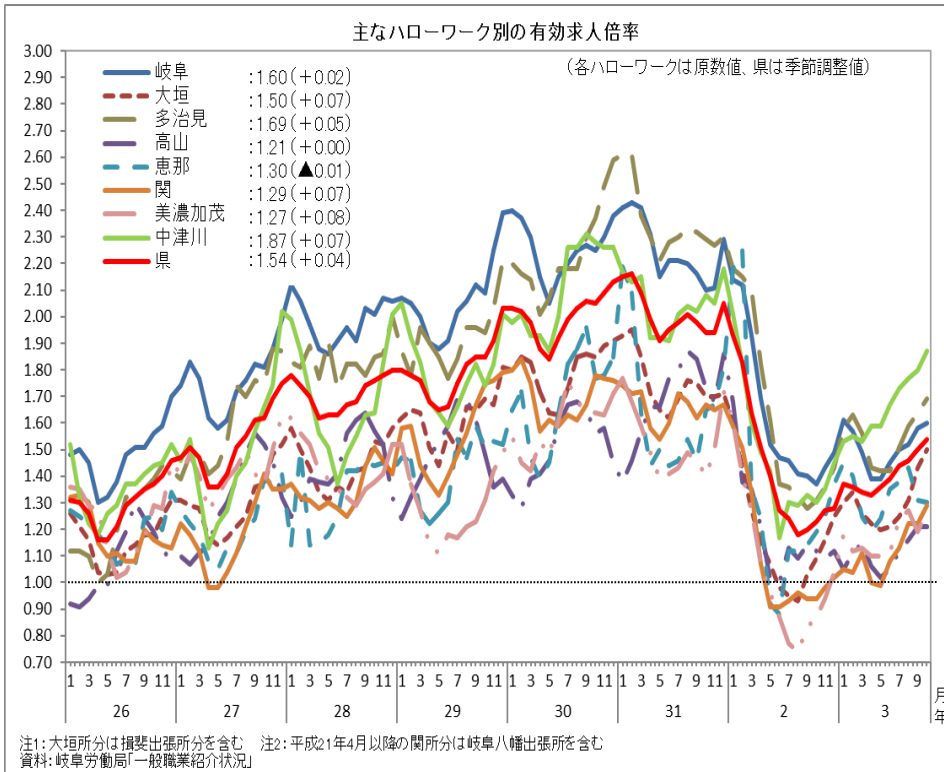
資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇用(地域別)



○10月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、恵那のみ低下した。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<窓口の様子> ※前月比

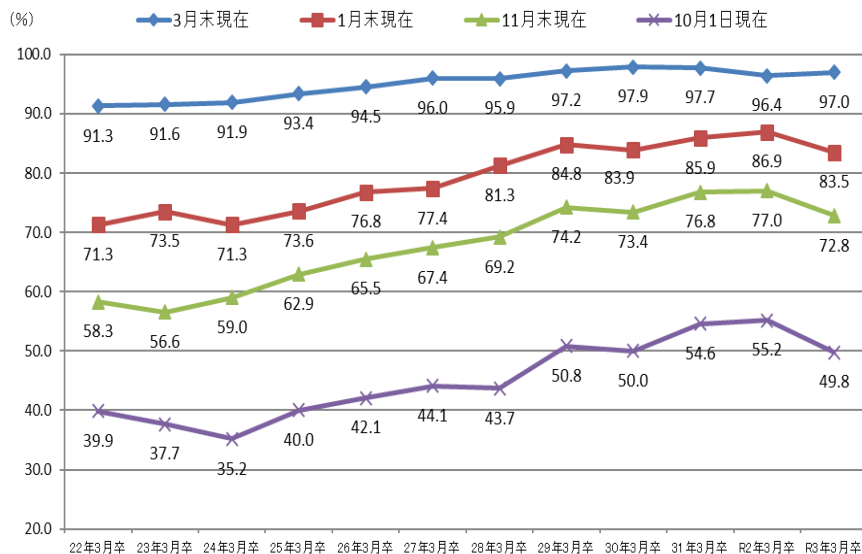
- ◆岐阜、多治見、中津川で混雑傾向にあった。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○岐阜県の令和3年3月末時点の大学・短大卒業者(令和3年3月卒業)の就職内定率は、97.0%であり、前年同時点と比べ0.6ポイントと上昇した。

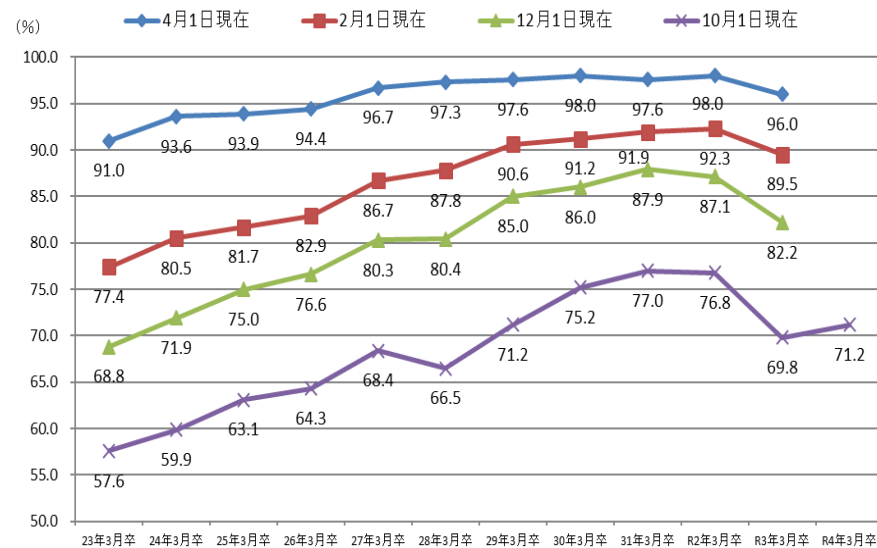
○全国の令和3年10月1日現在の大学卒業者(令和4年3月卒業)内定率は71.2%であり、前年同時点と比べ1.4ポイントと上昇した。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業生(大学・短大)の就職内定状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料: 厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

現場の動き(2022卒の動きなど)

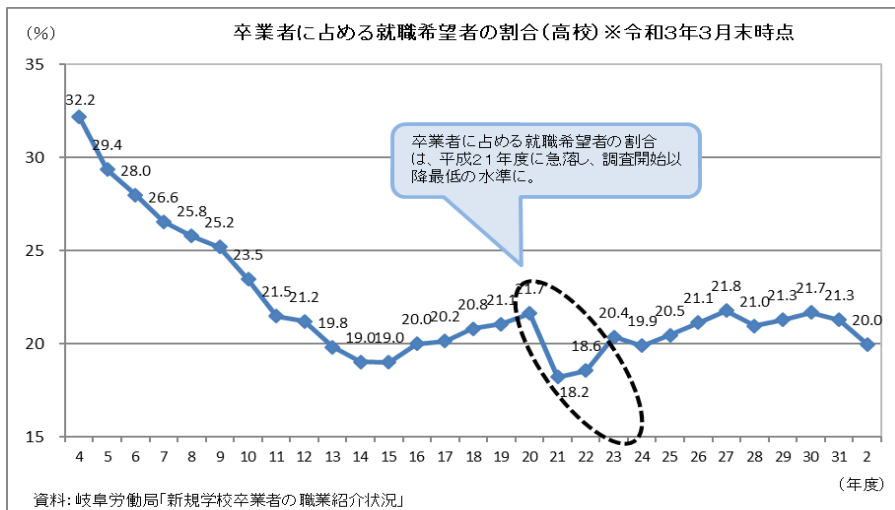
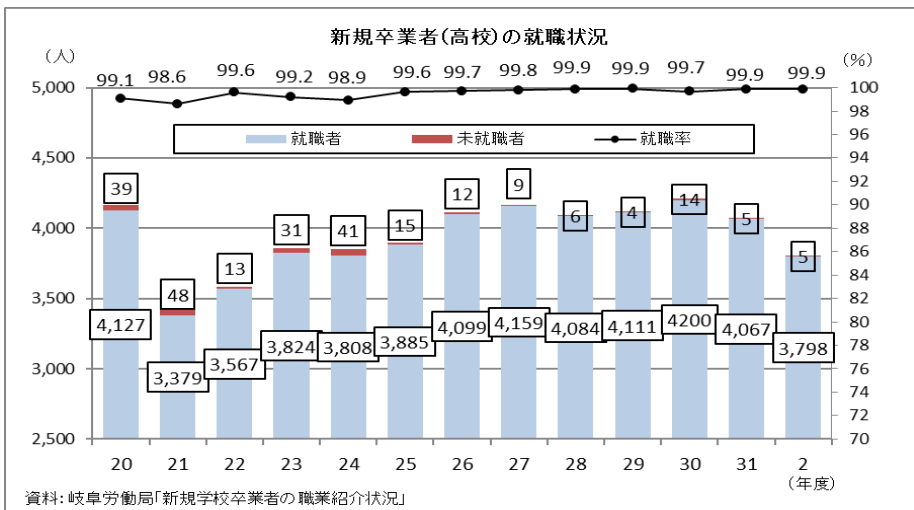
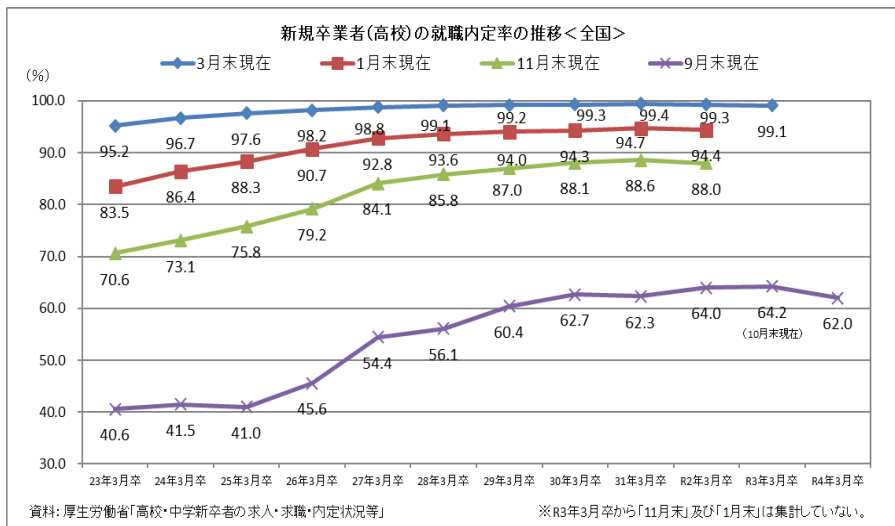
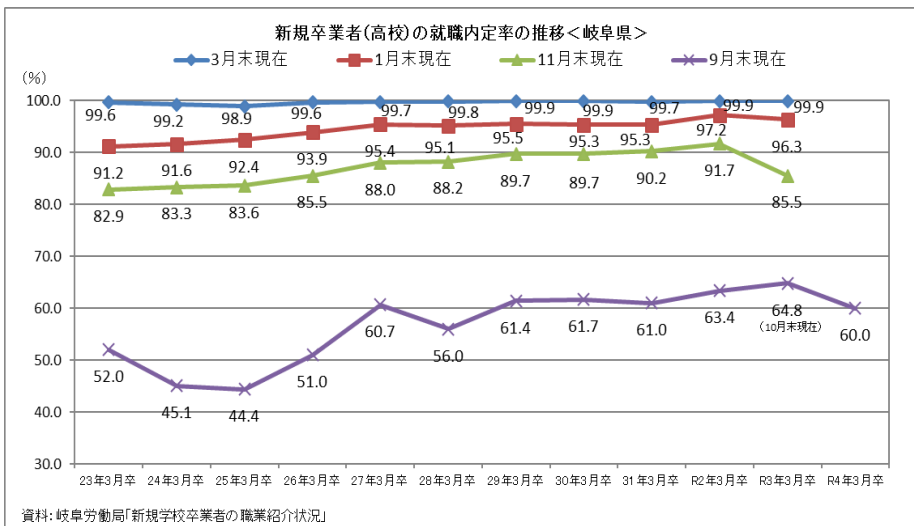
<大学へのヒアリング>

- ◆ 毎週数社の企業を誘致して業界研究会を行っているが、参加学生が少ない。昨年の平均は30名程度であったが、今年は数名の場合もある。
- ◆ 22卒向けの求人がやや減少している。(以上、岐阜県内大学)
- ◆ ESの添削など、23卒からの相談が少しずつ増えてきている。
- ◆ 模擬面接会を例年11月中旬から実施。昨年は25名ほどの参加が今年は7名と少なかった。(以上、愛知県内大学)

雇用(高校新卒者の就職)

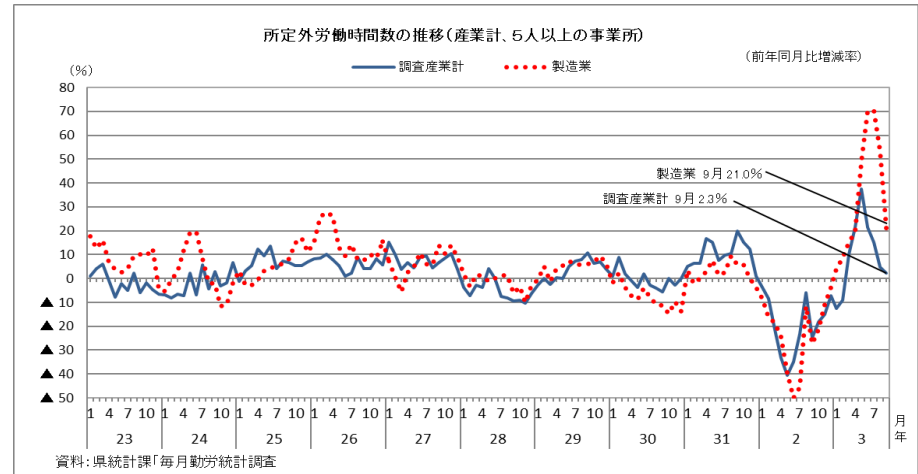
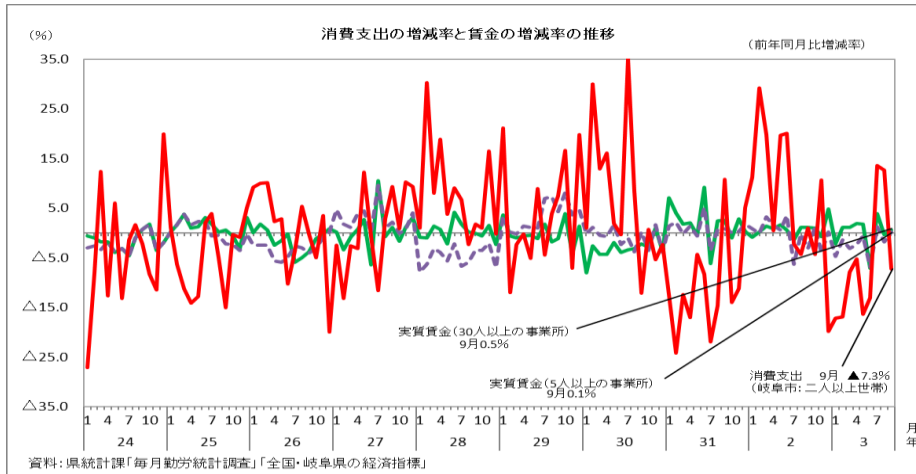
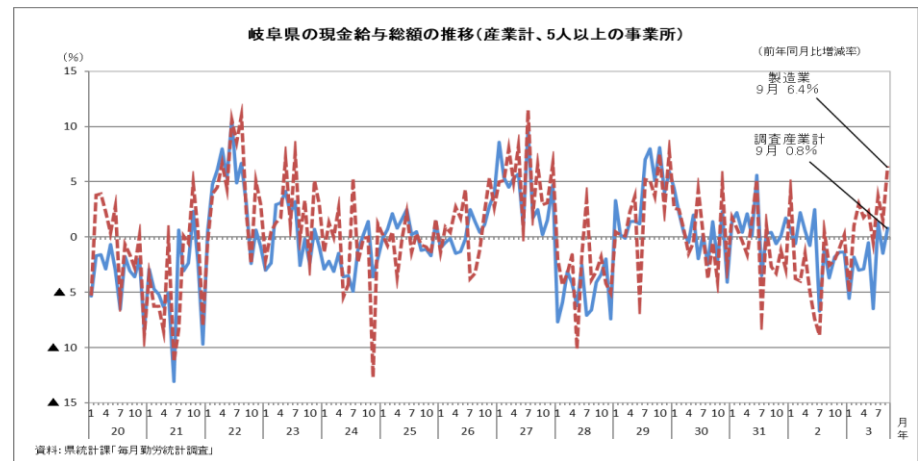
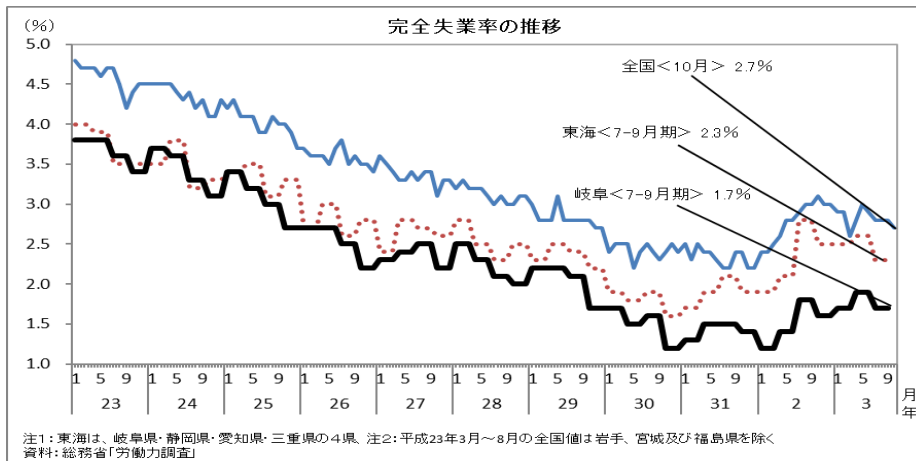
○岐阜県の令和3年9月末時点の高校卒業者(令和4年3月卒業)就職内定率は60.0%であり、前年10月比で▲4.8ポイント低下した。

○全国の令和3年9月末時点の高校卒業者(令和4年3月卒業)就職内定率は62.0%であり、前年10月比で▲2.2ポイント低下した。



雇 用(完全失業率等)

- 全国の10月の完全失業率は2.7%で前月比▲0.1ポイントと低下。岐阜県の7-9月期の平均は1.7%で前期比▲0.2ポイントと低下。
- 9月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比0.8%、製造業で同6.4%と増加。
- 9月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所は前年同月比0.5%、5人以上の事業所は同0.1%と増加。9月の消費支出については同▲7.3%と減少した。
- 9月の所定外労働時間数は前年同月比2.3%増加し、7ヶ月連続で増加した。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、9月の鉱工業生産指数は前月比▲5.2%と低下。ヒアリングでは、これまでの減産分に対する挽回生産の動きが見られ始めた一方で、原油や原材料価格の高騰による収益性の悪化を懸念する声が引き続き聞かれた。
- 地場産業は、9月の鉱工業生産指数は、繊維工業と家具を除いて上昇した。ヒアリングでは、受注回復の兆しから今後の先行きに期待する声があった一方で、仕入れコストや燃料費が上昇しているとの声が聞かれた。
- 設備投資は、9月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比で81.5%増加した。金融機関からのヒアリングでは、脱炭素化の意識は高まっているものの、そのために設備投資をするという動きは一部の企業に限定される、との指摘もあった。
- 個人消費は、10月の販売額は、コンビニを除いて上昇した。ヒアリングでは、気温の低下等により一部に堅調な消費の動きは見られたものの、今後の家計負担の上昇による消費マインドの落ち込みを心配する声も聞かれた。
- 観光は、9月末をもって国の緊急事態宣言が解除され、10月15日からは県民割引キャンペーンが開始されたものの、GoToトラベルの実施期間と重なる対前年同月比及びコロナの影響を受ける前の対前々年同月比ともにマイナスとなるなど、厳しい状況が続いている。宿泊施設からのヒアリングでは、緊急事態宣言措置が解除された後も出足が鈍く、売上高・宿泊施設は大変厳しい状況が続いているとの声があった。
- 企業の資金繰りは、10月の制度融資実績は、件数、金額ともに6ヶ月連続で前年同月比で減少した。金融機関からは、実質無利子無担保融資の返済や原油高の影響を注視する声が聞かれた。
- 雇用面は、10月の有効求人倍率は1.54倍と6ヶ月連続で上昇した。ヒアリングでは、人材の過不足はないという声も一部にあったものの、業種や地域によっては人材の確保が思うように進んでいない旨の声が聞かれた。